



はなもみじ

平成22年 屋代
4月20日 小学校
春秋ごくに句うなり

図書館開館

～ たんけんしたいな 本の森(2010「こどもの読書週間」標語) ～

先週で2～6年生へのオリエンテーションが済み、19日(月)より図書館が開館しました。今年もたくさんの本と出会い、豊かな心を育ててください。



昨年度貸し出し冊数(平均)	
1年	152冊
2年	106冊
3年	101冊
4年	85冊
5年	70冊
6年	53冊
全校平均	94冊 (20年度比+4冊)

100冊読もう!

昨年度の貸し出しの様子を見ると、高学年になるほど、読書をするのが少なくなる傾向があるようです。絵本から、活字中心の本へと移り変わる高学年では、厚い本でもしっかりと読み通し、本のよさを味わってほしいものです。100冊(1週間に2冊)読むことを目標にしてみてください。

マナーを守ろう!

昨年度は、紛失本は0冊でした。きちんと返却してくれて、ありがとうございます。たくさんの方が利用する図書館ですから、相手のこと、そして、本のことを大切にできるようになりましょう。

**本はみんなのものです。らんぼうにしないで、大切にしましょう。
よごさないように、手をあらってからさわりましょう。**



家では、読みながら、食べたり飲んだりしないでください。
本にかきこみをしたり、ページをおったりしないでください。



学校ホームページには、「図書館」のコーナーもあります。

最近の学校生活から

3つの約束+1

学校に行くとき・遊びに行くとき
とまる・みる・まつ
ゆっくりはしる(自転車)

19日(月)長野県交通安全センターの方々に協力いただき交通安全教室を開催しました。

1・2年生は歩行の仕方、3～6年生は自転車の乗り方を中心に、学習しました。命を大切に!



発達障害は、生まれつきの脳のアンバランスです。さまざまな能力の発達に偏りがあるため、学習の習得に困難が起きたり、良好な人間関係が構築できにくかったりします。自分ではどうすることもできないことに、悩んだり苦しんだりしている子どもたちがいることを理解してあげてください。

【発達障害の概念図】

広汎性発達障害

自閉症

- ・言葉の発達、コミュニケーションの障害
- ・対人関係・社会性の障害
- ・パターン化した行動、こだわり

高機能自閉症

- ・知的な遅れがない自閉症

アスペルガー症候群

- ・コミュニケーションの障害
- ・対人関係・社会性の障害
- ・パターン化した行動、こだわり
- ・不器用（言語の発達に比べて）

注意欠陥 / 多動性障害
(AD / HD)

- ・不注意（集中できない）
- ・多動（じっとしてられない）
- ・衝動的な行動（考えるより先に動く）

学習障害 (LD)

「読む」「書く」「計算する」等のどれかが、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

* それぞれが別々の単一の病因に起因する障害ではなく、共通の症状を表す症候群として重なり合っている場合があります。

発達障害は気づかれにくく、先生や友達からも誤解をされてしまいがち。ちょっと立ち止まって、「こうした行動をとるには、何か原因があるはずだ」と、この子の立場に立って考えてあげることが必要です。

それが身勝手なことのように思えても、この子にとっては曲げることのできない重要な理由だということがよくあります。

だれもが「よくなりたい」「認めてもらいたい」という向上心を持ち、学校にきています。それなのに、学習意欲の低下、友達とのトラブル等が起こる背景には、周りの者の無理解もあるのです。周りの環境が、困難の原因となっていることも少なくはありません。

発達障害は、医師の診断によって明らかになります。心配なことがあれば、教育相談の場で発達にかかわる諸検査を受けたり、医療機関を紹介したりすることもできます。お気軽に学校へ相談ください。

